

## 70周年特別委員会委員長方針

鈴木 佑将

委員会開催日：毎月15日前後

=委員会メンバー=

副委員長：桂川 舜 千藤 純

中津川青年会議所は、明るい豊かな社会を実現するため、英知と勇気と情熱をもった青年が集い、まちをより良くするという想いを途絶えることなく受け継ぎながら、本年で70周年を迎えます。長きに亘り青年会議所活動を続けることができたのは、行政をはじめ関係各諸団体、地域の皆様のご理解とご協力をいただくことができたからです。そしてこの活動を先導してきたのは、幾度となく組織を変化させながら地域に多大な影響を与え続け、中津川青年会議所が、地域から必要とされる団体として伝統を築き上げてくれた先輩諸兄姉です。これまでの歴史を築き上げていただいた先輩諸兄姉、中津川青年会議所に深く関わっていただいた皆様に対し、70周年記念式典を通じて最大限の感謝を伝えると共に、現役メンバーが次代に向け、想いを受け継ぎ、真摯に取り組む姿を見ていただき、引き続き信頼していただけるよう取り組んでまいります。

70周年記念事業は、これまで多くの市民の方々のご参加、ご協力により活動できた感謝の気持ちを表すと共に、このまちの未来を担う財である子どもたちに対し事業を行うことがまちへの恩返しになると考えます。近年の子どもたちは、将来の選択をするとき、夢をもてない傾向にあります。その大きな要因は、成長していく過程で、明るい未来を想像できず、自身の枠に留まり、興味や関心事の先に踏み込めないことにあると考えます。だからこそ、児童期の子どもたちに、自身の枠から飛び出し、広い視野で夢を思い描いていただくことが重要です。そのために我々は、子どもたちが、夢を目指し、その先にある明るい未来を歩んで活躍している人の姿を目の当たりにする中で、夢を持つことの素晴らしさや、目指し続ける必要性を感じていただき、将来の自分に対し、無限の可能性が秘められていると感じられる機会を提供することが必要だと考えます。そうすることで、可能性に満ち溢れた夢を思い、胸が躍り、明るい未来に向かって歩み出すことで、その先に大きな夢を抱くことができると考えます。

70周年特別委員会として、受け持った事業に対し、本気で向き合い、次の節目まで記憶に残る事業を展開したいと考えます。そのために私は委員長として、メンバーを思いやり、牽引し、強固な結束力をつくる核となって取り組んでまいります。